

8-2-7 職業倫理啓発委員会

1. 主な活動の記録

(1) 倫理綱領等検討特別委員会等の支援

常に支援姿勢を示していたが、基本的には企画委員会が中心となった検討が行われ、当委員会からは情報提供にとどまった。

(2) 「新たな手引き」の発刊構想等の策定

新たな手引きとして、一時「(仮称)建設コンサルタントのための倫理」を想定したが、検討過程で「倫理綱領の改定」の議論が生じ、年度途中で常任委員会から「倫理綱領に対する意見照会」が行われる等状況が変遷した。

新たな手引きは「倫理綱領改定の解説」に軌道修正して策定すべきとの結論に至り、次年度に検討する予定とした。

(3) 職業倫理年次レポートの作成

平成 28 年度職業倫理年次レポートを作成し、6 月の常任委員会に報告した。

(4) 委員会の開催

平成 29 年度は計 7 回の委員会を開催した。

a) 平成 29 年 5 月：倫理綱領等検討特別委員会が発展的に解消し、当面企画委員会が継承する体制になったことを確認した。

平成 28 年度年次報告書案について相互に読んで完成させることとした。また、委員の交代(2 名減、新規公募加入 4 名)ならびに委員長の続投を承認した。

b) 平成 29 年 7 月：新規に加入した 4 委員に説明する形式で、当委員会の置かれている状況と課題を整理・再認識した。

c) 平成 29 年 9 月：企画委員会から常任委員会に諮られた「倫理綱領等改訂に関わる検討方針(案)」について情報を共有した。これらを踏まえ、当委員会では、「倫理綱領の改定理由」を再整理し、「企業倫理と技術者倫理の仕分けによらない普遍的な倫理関係項目」を検討することとした。

d) 平成 29 年 10 月：企画委員会より、倫理綱領の見直し時期について次期中期計画

を意識する趣旨の説明があったことを情報共有した。また、倫理綱領の構成案について意見を出し合った。

e) 平成 29 年 12 月：倫理綱領(企業倫理)と行動規範(技術者倫理)を連携させる方向で、倫理綱領の項目建て構成ならびに倫理綱領の記載大項目について議論した。また、年次報告書の分担担当を決めた。

f) 平成 30 年 2 月：常任委員会から求められた「倫理綱領に対する意見照会」ならびに「建コン組織に関する意見照会」に対する回答案について、意見を交換し集約した。

g) 平成 30 年 3 月：常任委員会で今後確認が予定されている「協会 HP 情報の更新所管部門」の原案に、「建設コンサルタント技術者の倫理の更新所管部門は職業倫理委員会」との誤記がある旨確認した。

(5) 今後の予定

平成 29 年度職業倫理年次レポートは、平成 30 年 6 月の常任委員会に報告する予定である。

2. 次年度の活動について

(1) 倫理綱領等改定 WG (提案段階) の支援

常任委員会が実施している「倫理綱領に対する意見照会」の集約結果を踏まえ、あるいは「建コン組織に関する意見照会」の結果が一部関係する可能性のある「倫理綱領等改定 WG」について、積極的に支援する予定である。

(2) 「倫理綱領改定の解説」の検討

倫理綱領の改定に伴い、その背景や趣旨の解説が必要になると思われ、それらの作成を支援する。

(3) 職業倫理年次レポートの作成

職業倫理の遵守状況をモニタリングし、結果を「職業倫理年次レポート」として取りまとめ報告する。また、その状況によっては啓発活動の見直しを行なう。

(職業倫理啓発委員会委員長 西村 秀和)